

2018年6月24日

自治体学会理事長 様

自治体学会監事

道前 緑 
天島 真知子 

監査報告書

2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）の自治体学会事業の執行及び事業執行に伴う収支状況について、担当年度の監事として監査を行いましたので、下記の通り報告します。

記

1 監査実施日

2018年6月24日（日）14:00～17:30

2 監査場所

自治体学会事務所（東京都千代田区神田錦町2-1 KANDADA3331 2階）

3 監査方法及び概要

2017年度の事業執行に伴う収支状況に関しては、事務局より帳票及び調書に基づき報告を受けました。

帳票、調書、銀行通帳、郵便振替受払通知票、財産目録など関係書類を照合して実施しました。これらの結果、2017年度の収支状況に関する会計事務は適切に処理されております。

4 監査意見

学会の最近の事業内容を見ると、従来から行ってきた地域活動支援に自治体学講演会の開催が加わり、また、研究支援部会での論文作成指導など、個々の会員への直接的働きかけも行うようになって、会員の研鑽活動に対する支援の幅が広がっている。以前より投稿論文が増え、大会時の研究発表セッションへの申込も多くなるなど、学会がより活性化しつつあると感じられるのは、こうした活動の成果ではないかと思われる。

また、田村明まちづくり賞をはじめとする学会賞は、社会貢献・地域貢献に資する研究やまちづくり活動を顕彰するなど、広く社会全体に対し、自治体学会の意見や考えを表明し、アピールしていく活動であり、個々の会員の視野を広げ、めざすべき目標の具体例を示してくれると考える。

今後とも、会員や社会のニーズを見極め、事業内容に磨きをかけて、自治体学会の魅力を高めていっていただきたい。

以上